

泌尿器科当直医マニュアル

企画にあたって

多くの医師にとって、一人前になるために避けて通れない「登竜門」ともいえる業務の1つが当直ではないでしょうか。泌尿器科の場合は、数年に1回遭遇するかどうかといった救急疾患や、泌尿器科手術特有の術後出血や血尿などへの迅速な対応を求められることもありますので、特に後期研修をスタートしたばかりの先生方におかれましては、不安も多く気苦労が絶えないのではないかと思います。当直時に知っておくべき対応は非常に多岐にわたりますが、そのためには日々経験を積みながら謙虚に学んでいくほかに近道はありません。

そこでこのたび、経験豊富な執筆陣にご協力いただき、当直を行う際に役立つ実践的な一冊を目指して、いざという時に備えて日頃から学習できるように「泌尿器科当直医マニュアル」を発行いたします。本企画では、大きく〈外来編〉と〈入院編〉に分けて、当直時に遭遇する可能性のある疾患・トラブルなどについて、「主な症状」「鑑別診断」「診断・治療手順」「入院の際の判断基準※外来編の場合」「上級医師（他科医師）にコンサルトする際の判断基準」「緊急時の処方・点滴例」「緊急時に必要な処置」と、体系立てて解説しています。また、選択すべき検査から治療までの流れが可視化できるよう、適宜フローチャートもつけました。時間的余裕のない場合には、これをさっと見ていただくだけでも知識の整理に役立てていただけるかと思います。

全体を通して実践的な構成になっていますので、ぜひとも本増刊号を当直室に置いていただけましたら幸いです。そして、安心・安全に当直業務を乗り越えるための一助となることを願っています。通常の教科書の枠を超え、自らの経験に基づき、要点をわかりやすく解説していただいた執筆者の皆様にあらためて深く感謝申し上げます。

慶應義塾大学医学部
泌尿器科学教室

大家 基嗣